



誰も教えてくれなかった PAの原理と応用

Price Action/

プライスアクション

PAの単日形態 スラスト デイ

スラスト(thrust)アップ: 前日の高値より高く大引けしたこと。

スラスト(thrust)ダウン: 前日の安値より低く大引けしたこと。

上昇トレンドにおけるスラストアップ

上昇トレンドでは、スラストアップデ
ィの継続がよく観察される。

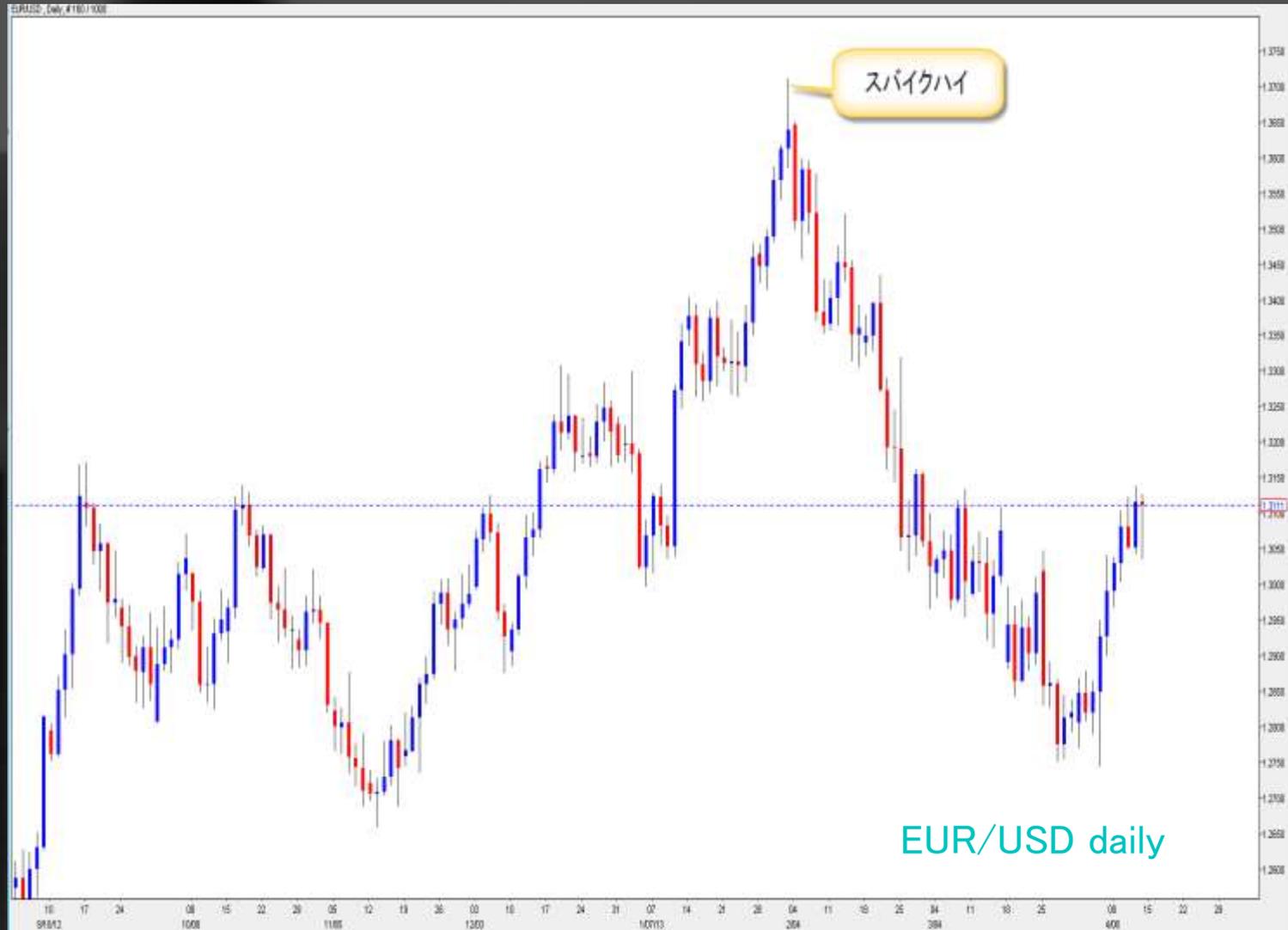


PAの単日形態 スパイクハイ

- ・ スパイク (spike high) の条件
- ・ 前後数日の高値より高く、かつ明確な差を有する。
- ・ 終値が当日最安値に近い。特に一日値幅の中、比較された場合。
- ・ スパイクハイが形成される前に、上昇トレンドがすでに確認されたこと。

PAの単日形態

スパイクハイ



PAの単日形態 スパイクロー

- ・ スパイク (spike low) の条件
- ・ 前後数日の安値より安く、かつ明確な差を有する。
- ・ 終値が当日最高値に近い。特に一日値幅の中、比較された場合。
- ・ スパイクローが形成される前に、下落トレンドがすでに確認されたこと。

PAの単日形態

スパイクロー



PAの単日形態 ランウェイ

※ ランウェイ(runway)アップの条件:

- 1、当日の高値、過去N日間の最大値より高い
- 2、当日の安値、未来N日間の最小値より低い

※ ランウェイ(runway)ダウンの条件:

- 1、当日の安値、過去N日間の最小値より低い
- 2、当日の高値、未来N日間の最大値より高い

上昇トレンドにおけるランウェイアップディ

上昇トレンドでは、ランウェイアップディがよく数えられ、また連続される。但し、N日後でないと確認できないので、事後的な測り方として扱う。

N=5日

USD/JPY daily



下落トレンドにおけるランウェイダウディ

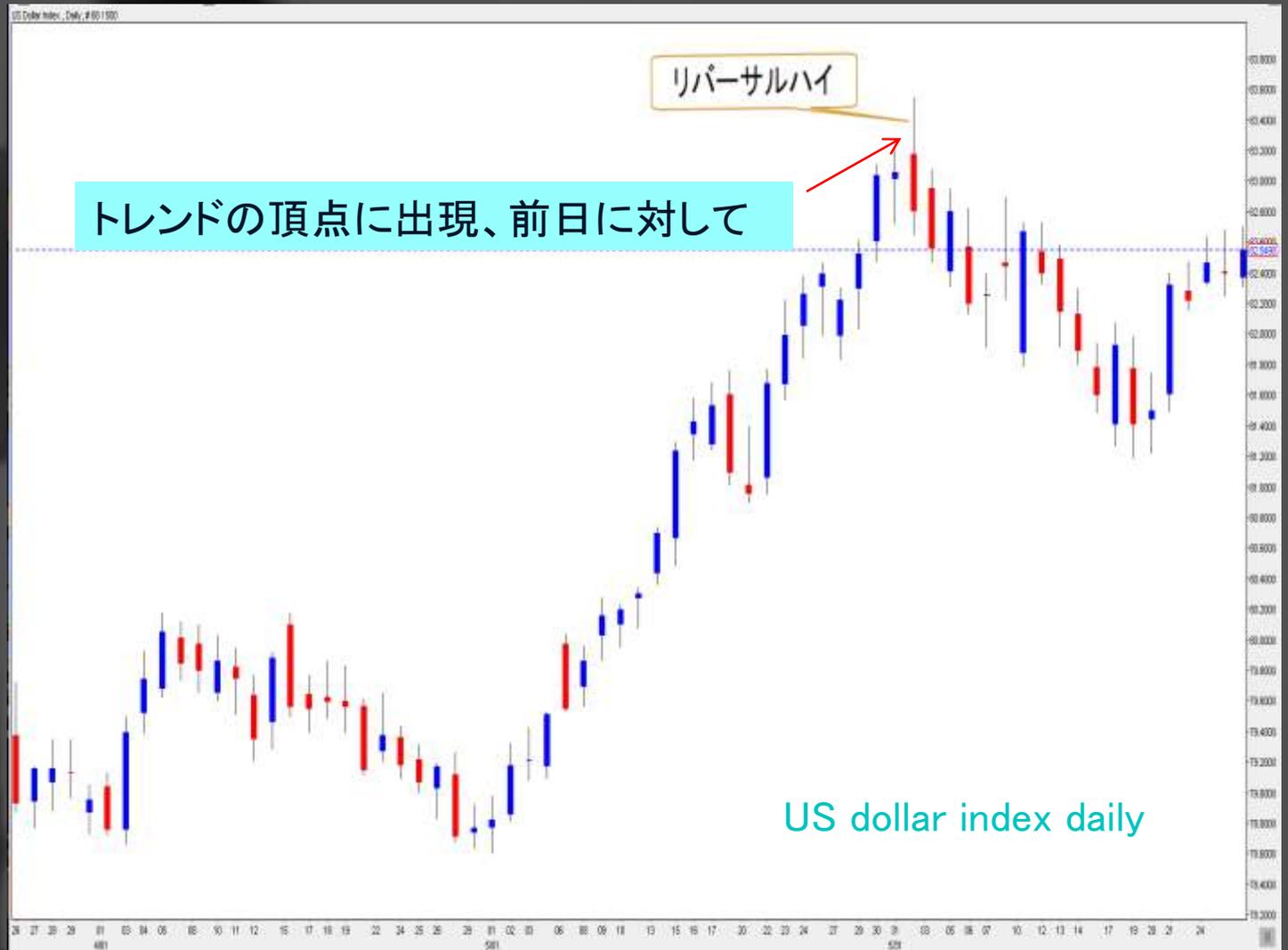


PAの単日形態 リバーサルデイ

※ リバーサルハイ:上昇トレンドにおいて高値更新を果たしたものの、反落して前日の終値より低く大引けした足型。(前日安値より低く引けたら、より典型的)

※ リバーサルロー:下落トレンドにおいて安値更新を果たしてもものの、反騰して前日の終値より高く大引けした足型。(前日高値より高く引けたら、より典型的)

PAの単日形態 リバーサルハイ



プライスアクションの定石

- ・ ※ ピン (pin)バー
or スバイク(spike)
- ・ ※ インサイド &
アウトサイド
- ・ ※ フェイク(fake) セットアップ &
フォールス(false)・ブレイクアウト

ピン バー or スパイク



ピンバー or スバイクの極意

- ・ ピンバーorスバイク、ザラ場における極端値（高、安値）が重要な抵抗或いは支持ゾーンを示す。またその役割、ブレイクされた後も転換される。
- ・ ピンバー or スバイクといった足型自体、スライスディ、リバーサルディにも成り得る。
- ・ 一日値幅の内、極端なレベル（高、安値）に近く引けたほど、足型を有力視。
- ・ トрендが継続されればされるほど、出現したピンバーやスバイクがトレンド転換の兆し。

インサイド & アウトサイド



インサイド&アウトサイドの極意

- ・トレンドの途中に出現した場合、往々にしてスピード調整を示し、押し目買い、或いは戻り売りの好機を提供してくれる。
- ・ブレイクの方向、あくまで「母線」(値幅がより高く、前後の足型を包む線)の高値、安値のブレイクを基準とするが、トレンドの進行方向に沿ったブレイクを重視。
- ・インサイドにしても、アウトサイドにしても、構成本数が多いほどブレイク後のトレンドが強いとされる。

フェイク セットアップ



フェイク セットアップ



フォールス・ブレイクアウトの極意

- ・ フォールスもダマシの意味だが、フォールス・ブレイクアウトは重要な抵抗、或いは支持ゾーンのブレイクに失敗したことを指す。
- ・ ザラ場における新高、安値、重要なレジスタンス或いはサポートを一時ブレイクしたにも関わらず、当日(場合によっては翌日)反転のシグナルを点灯。
- ・ 故に、相場天井、底、或いは中段保ち合いにおけるレンジに、高、安値の更新に伴うダマシのシグナルとして機能。

フォールス・ブレイクアウト



フェイク セットアップの極意

- ・ フェイクはダマシを意味し、反転のシグナルとして利用される。
- ・ フェイク セットアップ、往々にしてインサイド、アウトサイド、ピンバー、リバーサルデイや長大線の組み合わせとなる。
- ・ フェイク セットアップ、組み合わせ本数が多ければ多いほど、前のトレンドが強ければ強いほど有力。

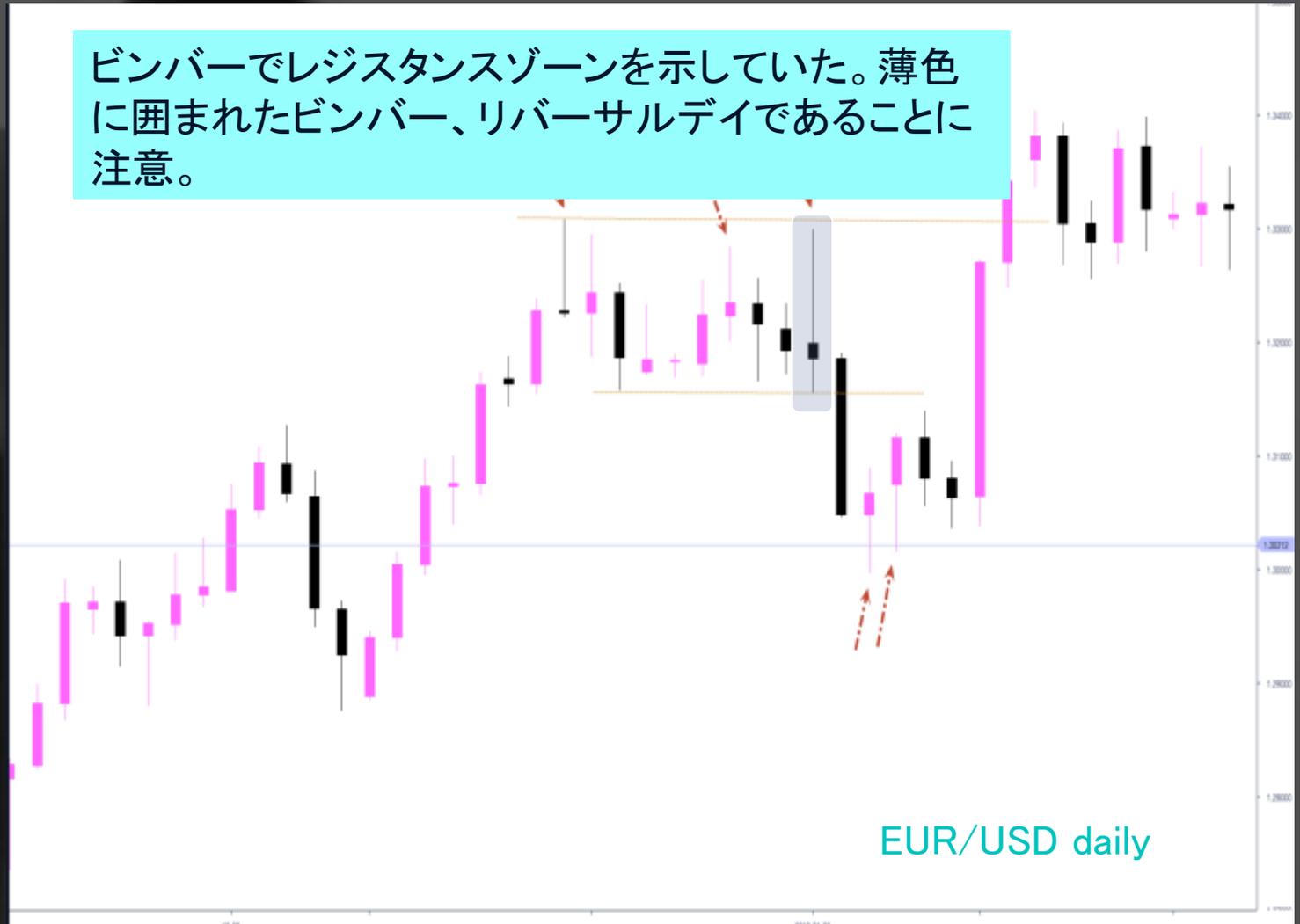
インサイド & アウトサイド

前に対してインサイド、後に対してアウトサイド、2月25日大陰線、その後の高値更新が強烈なサインを灯した。



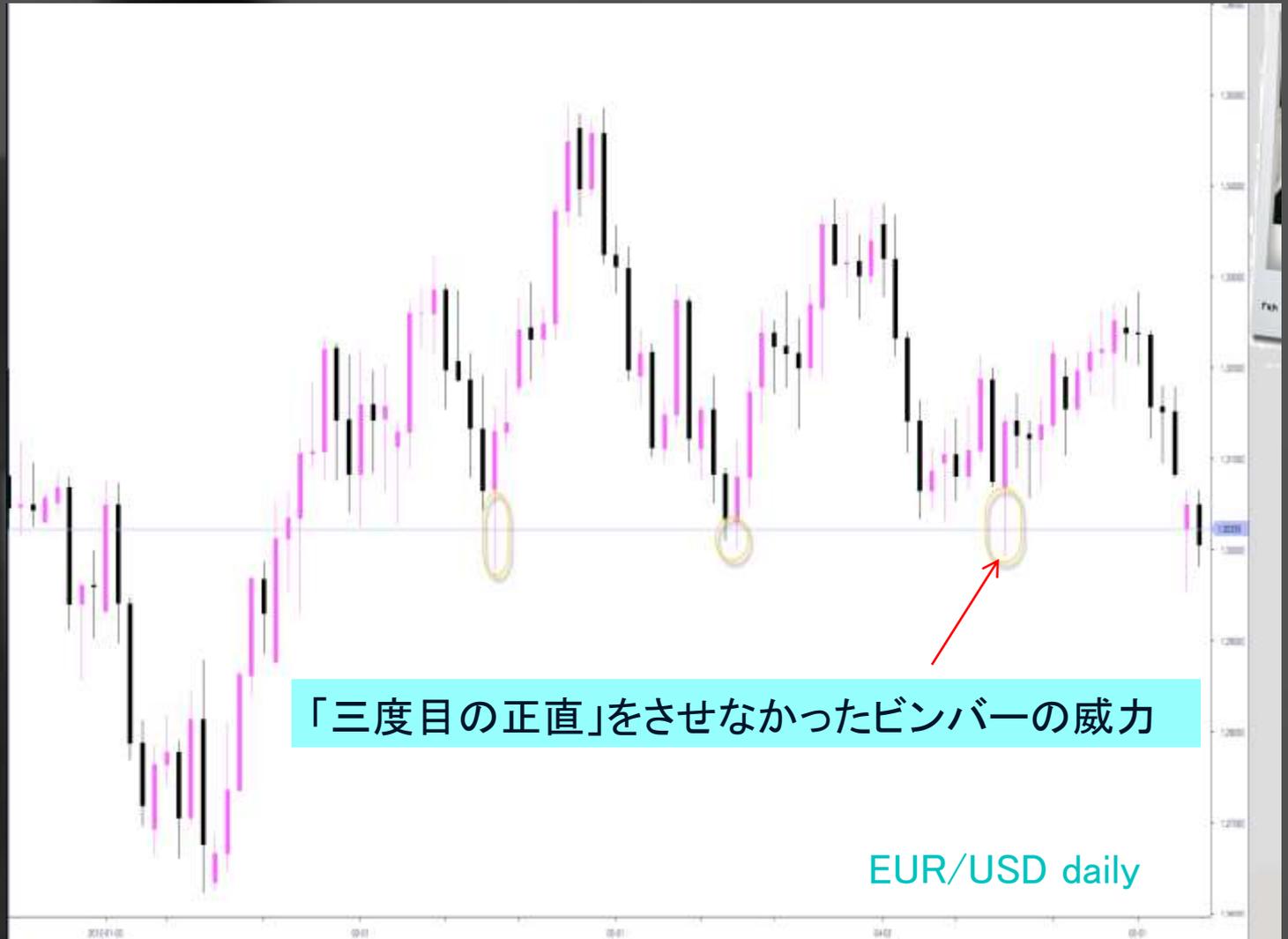
ピン バー or スパイク

ピンバーでレジスタンスゾーンを示していた。薄色に囲まれたピンバー、リバーサルデイであることに注意。



EUR/USD daily

フォールス・ブレイクアウト



トレンドにおけるPA定石の応用



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562